

審査員特別賞

経営学部 総合経営学科 2年

三好銀土さん

『嫌われる勇気』／岸見一郎，古賀史健著／ダイヤモンド社

「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」と心理学三大巨頭の一人であるアルフレッド・アドラーは断言する。すべてかは分からないが、今持っている悩みを思い返すと薄らとその影が差してそうだ。

本書はこの問題に対して示唆に富んだ内容をしている。例えば、理不尽な怒りをぶつける上司がいたとする。この時、仕事を止めてでも機嫌を取るべきか？本書は「すり寄る必要はない」と答える。理不尽な怒りは上司の課題。たとえ嫌われようとも、上司の課題には介入せず自らの課題のみに集中する。この「課題の分離」により、対人関係の悩みはシンプルになる。その様な「嫌われてでも先に進む勇気」を教えてくれるのが本書だ。

ただ、問題点が一つある。それは主張のための検証が一切ない点だ。本文では客観的理由の欠如があるまま、断定的に意見を主張する箇所が多々ある。そのため、本書を手放しに盲信せず、各々の考えを持って冷静に読まれることをお勧めする。